

2020年度
京都歯科医療技術専門学校
学校関係者評価 報告書

2021年 2月
学校関係者評価委員会

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会実施日時
4. 学校関係者評価委員会出席者
5. 自己点検・自己評価アンケート
6. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果
 - A. 学校役員・専任教員結果
 - B. 学生アンケート結果
2. まとめ
3. 総 評

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、京都歯科医療技術専門学校（衛生士科・技工士科）の学校関係者評価委員会の結果を記載したものであります。

令和3年2月15日

学校長 小瀬木 良和

自己点検・自己評価 集計担当者 村西 実智浩

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・自己評価結果をもとに、専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施する。

3. 学校関係者評価委員会実施日時

第1回実施日：令和 2年11月11日（水）午後6時～午後7時

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室

第2回実施日：令和 3年 1月27日（水）午後6時～午後7時

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室

4. 学校関係者評価委員会 出席者

◎学校関係者評価委員

	職 名	氏 名
評 価委員長	歯科医師	後 藤 保
評価副委員長	歯科医師	大 西 太
評価委員	歯科医師	岩 田 光 生
評価委員	歯科医師	杉 本 勘 太
評価委員	歯科医師	平 井 千香子

◎自己点検・自己評価委員

	職 名	氏 名
評 価委員長	学 校 長	小瀬木 良 和
評価副委員長	副学校長	長 澤 成 明
評価委員	副学校長	請 田 研 二
評価委員	教務部長	秦 野 博 司
評価委員	衛生士科 学生部長	松 井 恭 子
評価委員	技工士科 学生部長	栗 田 和 則
評価委員	技工士科 教務主任	村 西 実智浩
評価委員	衛生士科 教務主任	有 井 真 弓

◎事務局

	職 名	氏 名
事業部	学校担当	岩 村 信 子

5. 自己点検・自己評価アンケート

学校役員及び専任教員（計16名）への設問は67問、学生アンケート（衛生士科57回生50名・衛生士科58回生47名・技工士科50回生20名）への設問は20問とした。設問については、資料1に示す。

実施日：2020年1月

実施方法：配票調査法

6. 学校関係者評価方法

学校関係者16名（回収率100%）が回答した自己点検・自己評価結果及び3クラス（衛生士科57回生・衛生士科58回生・技工士科50回生）の学生（回収率100%）が回答した学校評価アンケートの結果に基づき、評価項目の結果及び改善点についてそれぞれ検討を行った。

学校関係者評価委員会は2回開催し、意見を伺った。

なお、設問毎に評価項目は3項目（適切：A ほぼ適切：B 不適切：C）から選択し、その中で不適切評価の割合が比較的高いものを改善していく方向とした。

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果

A. 学校役員・専任教員

資料2に学校役員6名と専任教員10名の自己点検・自己評価のアンケート結果を示した。

設問10, 62, 65, 66, 67においては、不適切との回答がそれぞれ25%以上となり、改善策が求められる。

※改善が求められる設問を下記に示す。

設問10：情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか

設問62：自己評価結果を公開しているか

設問65：学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか

設問66：国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか

設問67：学校資源を活用した生涯学習事業や附帯教育活動を実施しているか

※改善方策について

設問10：今後は、情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っていききたい

設問62：令和2年度よりホームページへ情報公開を行う

設問65：学生のボランティア活動等、支援が行える環境を整えていきたい

設問66：国際的視野も含め、授業科目の見直しを行っていききたい

設問67：卒後研修を通じて、生涯学習事業に取り組んでいきたい

今回、(設問16と42)・(設問28と36)・(設問33と38)・(設問34と39)の4つの内容が酷似しており、設問の見直しが求められた。

また、設問13, 15, 16, 17, 22等、多くの設問において、ほぼ適切との回答であったが、まだ改善の余地があると考えられる。

B. 学生アンケート結果

資料3に学年3クラス（衛生士科57回生50名・衛生士科58回生47名・技工士科50回生20名）の学生が回答した学校評価アンケートの結果を示した。

衛生士科58回生及び技工士科50回生においては、適切・ほぼ適切との回答が大半を占めた。

衛生士科57回生においては、設問8，9，13，19，20において不適切との回答がそれぞれ24%以上となり、改善が求められる結果となった。

※衛生士科57回生において、改善が求められる設問を下記に示す。

設問 8：学生の健康管理を行う体制を整備しているか。

設問 9：保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか。

設問13：学生の健康管理を担う組織体制はあるか。

設問19：学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

設問20：国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか。

※改善方策について

設問 8：毎年、健康診断を行っているが、年間を通じて健康管理ができる体制を整えていきたい。

設問 9：各学年において、保護者説明会を行っているが、今後も保護者と密に連絡を取り、情報提供を行う。

設問13：毎年、健康診断を行っているが、年間を通じて健康管理ができる学校の体制を整えていきたい。

設問19：学生のボランティア活動等、支援が行える環境を整えていきたい。

設問20：国際的な視野を広げられる講師の選択と授業内容を整えていきたい。

今回、(設問8と13)の内容が酷似しており、設問の見直しが求められる。また設問1, 2, 3, 6, 7等、多くの設問については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地があると考えられる。

※衛生士科57回生の結果において、他のクラスより顕著に改善点が表れた事においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、臨地・臨床実習に出ている期間が長かったため生じた心の不安感が起因すると考えられる。評価基準において、今回3項目(適切:A ほぼ適切:B 不適切:C)としたが、どちらでもないBの選択の確立が高くなると考えられることから、評価基準を4項目にするべきとの意見もあった。

また今回、学生に行った学校評価アンケートは、1月に実施したため国家試験受験前の両科の最終学年は実施を見送ることとしたが、次年度からは5クラス全てにおいての実施を行い、アンケート時期の見直しも必要と感じる。

2. まとめ

今年は新型コロナウイルスの影響で学生、教職員共に大変な1年となった。今回の学校評価結果においては、多くの設問において、概ね適切・ほぼ適切との回答が多く、本校の日頃の教育方法が認められた結果となり、学校関係者として少し安心しています。しかしながら、一部の設問においては改善の余地が残されており、学校関係者や学生の理解が得られる教育環境の整備が必要と思われる。

今までの普通の学校生活がいかに幸せであったか、それを気付く1年であったとも思う。早く平穏な日常に戻れることを祈り、本校に入学しプロの医療ライセンスを目指す誇りある学校になることを祈り、今後も皆さまにご意見を伺っていきたいと思います。

3. 総評

本委員会は、京都歯科医療技術専門学校の学校運営に関する自己点検・自己評価結果について、学校関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性、透明性を高め、理解促進、連携協力によって学校運営の改善に役立つことを目的としています。

また、学生にも学校評価のアンケートを行い、本校での学校生活の充実を図るとともに、広い視野を持ち人間性豊かな医療人となる事を望んでおります。

自己点検・自己評価結果に基づく委員の評価につきましても、今回初めての対応となり、難しい判断をさせていただきましたが、ほとんどの項目で適切・ほぼ適切との評価を確認し、学校関係者の取組みにも理解を示すことが出来ました。

今回、コロナ禍の中、中止になった行事や研修会が多く、大きくカリキュラム変更を余儀なくされた現状も理解出来ました。今後、コロナ禍での学校運営、学生の安全を図りながらの教育の質保証の方策を検討していく必要性を感じました。

今後は、今回の課題を一つ一つ解決するために、評価委員の意見を反映していただき、京都歯科医療技術専門学校の教育の質を高めるような取組みをしていただくようお願いします。

私たち評価委員は、引き続き学校の発展に協力していくと共に、学校関係者評価委員会を代表として総評と致します。

学校関係者評価委員会
委員長 後藤 保

本校の学校運営に役立てるため、自己点検・自己評価にご協力をお願いします。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育成人材像

	評価
1 目的・育成人材像は定められているか	A・B・C
2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	A・B・C
3 理念・目的・育成人材像等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C
4 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A・B・C

2. 学校運営

5 理念・目的に沿った運営方針を定めているか	A・B・C
6 運営方針に沿った事業計画を定めているか	A・B・C
7 設置法人は学校運営のための組織を整備し、組織運営を適切に行っているか	A・B・C
8 人事に関する制度を整備しているか	A・B・C
9 給与制度を整備しているか	A・B・C
10 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	A・B・C
11 学籍簿は、学籍の記録、履修状況が正確に記載され、保管が適切にされているか	A・B・C

3. 教育活動

12 教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	A・B・C
13 学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A・B・C
15 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
16 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	A・B・C
17 各職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか	A・B・C
18 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
19 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	A・B・C
20 資格取得の指導体制はあるか	A・B・C
21 資格・要件を備えた教員を確保しているか	A・B・C
22 教員の資質向上への取り組みを行っているか	A・B・C
23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教育を確保しているか	A・B・C
24 教員の先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組みが行われているか	A・B・C

4. 教育成果

25 就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
26 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	A・B・C
27 具体的な就職指導に関するセミナー・講座等を開講しているか	A・B・C
28 学生の就職活動状況を学内で共有しているか	A・B・C
29 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	A・B・C
30 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	A・B・C
31 学生相談に関する体制を整備しているか	A・B・C
32 生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
33 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A・B・C
34 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	A・B・C
35 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

5. 学生支援

36	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
37	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
38	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
39	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C
40	保護者と適切に連携しているか	A・B・C
41	卒業生の支援体制はあるか	A・B・C
42	キャリア教育を教育活動に導入しているか	A・B・C

6. 教育環境

43	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
44	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
45	学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
46	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
47	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

7. 学生の募集と受入

48	学生募集を適切かつ効果的に行っているか	A・B・C
49	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	A・B・C
50	学生募集のための、ホームページの工夫はされているか	A・B・C
51	広報活動経費が適正に算定されているか	A・B・C
52	入学辞退者に対し、授業料等について、適切な取り扱いを行っているか	A・B・C

8. 財務

53	学校の財務状況を把握しているか	A・B・C
54	学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A・B・C
55	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A・B・C
56	財務について会計監査が適正に行われているか	A・B・C
57	財務情報公開の体制整備はできているか	A・B・C

9. 法令遵守

58	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	A・B・C
59	個人情報保護に関する対策を実施しているか	A・B・C
60	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A・B・C
61	自己評価の問題点の改善に努めているか	A・B・C
62	自己評価結果を公開しているか	A・B・C

10. 社会貢献

63	重要な社会問題について、学生・教職員への啓発を行っているか	A・B・C
64	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A・B・C
65	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
66	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C
67	学校資源を活用した生涯学習事業や附帯教育活動を実施しているか	A・B・C

自由記載：課題や意見等、あれば自由にご記入ください

--

一般社団法人 京都府歯科医師会会立 京都歯科医療技術専門学校
令和元年度学校評価学生アンケート

本校の学校運営に役立てるため、学生のみなさんのご意見をお聞きしたいと思います。
あなたの学科と学年を教えてください。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

学科・学年
衛1・衛2・衛3
技1・技2

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育人人材像

		評価
1	理念・目的・育人人材等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C

2. 教育活動

2	学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
3	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
5	資格取得の指導体制はあるか	A・B・C

3. 教育成果

6	就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
7	生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
8	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	A・B・C
9	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

4. 学生支援

10	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
11	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
12	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
13	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C

5. 教育環境

14	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
15	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
16	学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
17	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
18	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

6. 社会貢献

19	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
20	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C

学校評価アンケート結果(学校役員・教員)

資料一-2

(評価基準) 適切:A ほぼ適切:B 不適切:C

学校役員(6名)
教員(10名)

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
A	12	10	10	11	9	8	10	10	12	4	13	9	5	9	6	5	6	9	13	12
B	4	6	6	5	7	8	6	5	2	8	3	7	10	7	10	11	10	7	3	4
C	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	25%																			

	設問21	設問22	設問23	設問24	設問25	設問26	設問27	設問28	設問29	設問30	設問31	設問32	設問33	設問34	設問35	設問36	設問37	設問38	設問39	設問40
A	8	7	5	7	14	5	4	6	12	2	10	5	6	5	7	12	11	4	7	4
B	8	9	11	9	2	11	12	10	4	13	6	11	8	10	9	4	5	10	8	12
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	1	0

	設問41	設問42	設問43	設問44	設問45	設問46	設問47	設問48	設問49	設問50	設問51	設問52	設問53	設問54	設問55	設問56	設問57	設問58	設問59	設問60
A	6	5	10	8	9	8	7	11	4	7	8	11	7	5	7	10	5	9	8	6
B	9	11	6	7	6	7	8	5	10	9	7	5	6	10	9	6	10	7	7	7
C	1	0	0	1	1	1	1	0	2	0	1	0	3	1	0	0	1	0	0	2

	設問61	設問62	設問63	設問64	設問65	設問66	設問67	
A	4	4	5	3	1	4	3	
B	10	8	11	13	11	7	9	
C	2	4	0	0	4	5	4	
	25%		25%		31%		25%	

自己点検・自己評価結果からの改善点について
※改善が求められる設問

設問	改善が求められる設問
10	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか
62	自己評価結果を公開しているか
65	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか
66	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか
67	学校資源を活用した生涯学習事業や附帯教育活動を実施しているか

【改善点】

⇒	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っていききたい
⇒	令和2年度よりホームページへ情報公開している
⇒	学生のボランティア活動等、支援が行える環境を整えていきたい
⇒	国際的視野も含め、授業科目の見直しを行っていききたい
⇒	卒後研修を通じて、生涯学習事業に取り組んでいきたい

※設問13,15,16,17, 22,23,24,26,27,28,30,32,33,34,35,38,39,40,41,42,47,49,50,57,60,61,62,63,64,65,66,67については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある

学校評価アンケート結果(学生)

資料-3

【評価基準】 適切:A ほぼ適切:B 不適切:C

衛生士科58回生(47名)
2年生

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
A	36	37	37	44	38	33	32	26	36	26	35	33	38	37	36	38	38	33	29
B	11	10	9	3	8	13	14	20	11	20	12	14	9	10	11	9	8	12	17
C	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1

衛生士科57回生(50名)
3年生

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20	
A	20	18	21	27	32	17	20	13	6	14	21	16	9	24	21	20	13	17	6	5
B	29	32	29	23	18	29	26	24	32	28	28	25	25	29	28	34	32	27	31	
C	1	0	0	0	0	3	4	13	12	4	1	6	16	1	0	2	3	1	17	13

26% 24% 32% 34% 26%

技工士科50回生(20名)
2年生

設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
A	18	12	12	15	15	9	13	11	9	14	16	13	15	16	15	14	15	7	11
B	2	8	8	5	5	10	6	7	10	5	4	6	5	4	5	6	5	11	8
C	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1

学校評価アンケート結果(学生)からの改善点について

- ・衛生士科58回生(2年生)、技工士科50回生(2年生)においては、適切・ほぼ適切との意見が大半を示した。
- ・衛生士科57回生(3年生)においては、設問8、9、13、19、20において改善する必要がある。

※改善が求められる設問

設問	8 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	⇒
	9 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	⇒
	13 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	⇒
	19 学生の健康管理を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	⇒
	20 国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	⇒

【改善点】

⇒	毎年、健康診断を行っているが、年間を通じて健康管理ができる体制を整えていきたい
⇒	各学年において、保護者説明会を行っているが、今後も保護者と密に連絡を取り、情報提供をしていきたい
⇒	毎年、健康診断を行っているが、年間を通じて健康管理ができる学校体制を整えていきたい
⇒	学生のボランティア活動等、支援が行える環境を整えていきたい
⇒	国際的な視野を広げられる講師の選択と授業内容を整えていきたい

※設問1,2,3,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある

※今回、衛生士科3年生の結果において、他のクラスより顕著に改善点が表れた事においては、コロナ禍において、臨床実習に出ている期間が長い生じたものだと考えられる。